

新生児聴カスクリーニング検査のご案内

当院では、聴こえ（聴覚）に障害を持つ赤ちゃんを早期に発見するための新生児聴カスクリーニング検査を2017年6月より入院中に実施しています。

検査は自動聴性脳幹反応（自動ABR）という方法で、音が聞こえたときに出る脳波の一種を検査する方法で、赤ちゃんが眠っている間に、短時間で安全に行える検査です。

この検査は聴こえ（聴覚）の障害の可能性を見つけるための検査で、確定診断を行うための検査ではありません。「要検査」の場合は、あくまで精密検査が必要であるということで、ただちに聴覚障害を意味するものではありません。1ヶ月健診後に当院耳鼻科外来にて耳鼻科の診察と精密検査を受けていただきます。

入院中の検査費用は、5250円（自費）です。検査は強制ではありませんが、当院では検査をお受けになることをお勧めしております。36週の妊婦健診時に同意説明書をお渡ししますので、検査の希望の有無にかかわらず、分娩で入院時、病棟スタッフに同意書説明書をご提出下さい。

尚、2017年6月以前に当院で出生された赤ちゃんに聴カスクリーニングを希望される場合は、お手数ですが、お住まいの自治体の保健センターにお問い合わせ下さい。